



獅子を退治する舞「金巻」

代野番楽を上演

(1月1日)

田代地区岩瀬の代野会館で、市無形民俗文化財「代野番楽」が上演され、保存会の会員が勇壮な舞いを披露しました。

代野番楽は350年以上も前に、旅芸人が旅の途中で代野町内に滞在したときに伝授したものと言われています。毎年元旦に、五穀豊穡、悪疫退散を祈願し代野稻荷神社に奉納していますが、今年は会場を変更して行われました。

武士が獅子を退治する「金巻」では、跳びはねたり刀を振りかざしたりして迫力のある舞いが演じられ、訪れた市民20人からは拍手が送られていました。



元気な声が通りに響き渡りました

達子森元旦詠唱会

(1月1日)

達子森頂上の薬師神社で、達子郷中会の「達子森元旦詠唱会」が開かれ、会員たちが大きな声で斉唱して新年を祝いました。

この詠唱会は、気分さわやかに新年を迎えようと始まった年頭行事で、今年で4回目。

朝7時ごろの日の出に合わせて頂上に登った10人の参加者は、神社を参拝した後、四方に向けて「元気出して！健康で！明けましておめでとう」と声をそろえてあいさつをし、新たな気持ちで1年のスタートを切りました。



火消しの心意気を示したまとい振り

無火災・無災害の誓い新たに

(1月5日)

大館市消防団の出初式が大町八チ公通りなどで行われ、街頭行進やまとい振りを披露して、1年の無火災・無災害を誓いました。

今年は大館・比内・田代から40分団が参加。分団旗やまといを先頭に、団員ら約930人が消防車を連ねて街頭を行進しました。

恒例のまとい振りには大館1、24分団の代表が参加。鐘の合図で鮮やかにまといが操られると、観客から惜しみない拍手が送られていました。

冬休み絵本を楽しみ会

(1月12日)

大館親子読書会主催の「冬休み絵本を楽しみ会」が中央図書館で開かれました。

会では、「楽しむ会」を毎年夏休みと冬休みに開いて、会員や市内の高校生などが日ごろ練習してきた読み聞かせを披露しています。

集まった子どもたちは、次々と繰り広げられる物語の世界に引き込まれ、最後まで熱心に聞き入っていました。



絵本の世界にくぎ付け

市民へエール！

(1月10日)

大館鳳鳴高校応援団の演舞会「鳳凰山の下に」が市民文化会館で行われ、勇壮な応援演舞やチアの華やかな踊りを披露しました。

演舞会は、普段の部活動応援などの他にも、応援団が主役になる舞台を作ろうと平成18年から毎年開催されていて、今年は男女合わせて12人が出演しました。

ステージでは「鳳鳴レッツゴー」「臥薪嘗胆」など伝統を受け継いだ演舞やチアの躍動感あふれる踊りに加え、野球部員と一緒に力強く応援歌を披露。観客席に向けてエールを送るなどパフォーマンスを繰り広げ、観客を楽しませていました。

力強い応援を披露



華やかな踊りで会場を沸かせました

